

2019.4

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jsm.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内

URL :

www.jsm.or.jp/branch/index.html

日本保全学会東北・北海道支部 「第3回保全技術交流会」 開催のご報告

日本保全学会東北・北海道支部が主催する第3回保全技術交流会が2019年1月28日(月)TKP ガーデンシティ札幌駅前で開催されました。

当初の開催予定は2018年9月6日(木)でしたが、この日の未明に発生した北海道胆振東部地震と北海道全域の大規模停電により、やむなく日程を延期した経緯があります。今回は、真冬の札幌開催となりましたが、穏やかな天候に恵まれ、交通の乱れもなく、計画通りに開催することができました。

本保全技術交流会は、現場ならではの技術情報の交換を通して、現場実務者の交流促進を図ることを目的に企画されたものです。初回の室蘭、2回目の青森に続き、3回目の開催となった今回は、総勢54名の参加申込みがあり、第1部の技術交流会、第2部の情報交換会が盛況のうちに進められました。

技術交流会の開始にあたり、現地実行委員長の牧野氏(北海道電力株式会社)から開会の挨拶をいただきました。



開会挨拶 牧野氏



会場の様子

技術交流会は、第1部「試験・検査」、第2部「現場保全事例」で構成され、全11件の発表が行われました。それぞれの発表に対して、杉山氏(北海道大学名誉教授)、青木氏(東北大学)から講評をいただき、その後に参加者を交えて活発な質疑および意見交換が行われました。

<技術交流会プログラム>

第1部：試験・検査

- ① 原子カプランドの配管RT向けデジタルX線撮影技術の向上 (株式会社ジェイテック 池田徹氏)
- ② AEセンサを用いた埋込金物検査の実施 (日本原燃株式会社 三浦進氏)
- ③ AEセンサを用いた逆止弁診断に関する取り組み (原子燃料工業株式会社 小川良太氏)
- ④ ボイラ管の各種内挿UT適用事例 (日鋼検査サービス株式会社 陣内北斗氏)

第2部：現場保全事例

- ① スタイロフォーム活用による重量物移動作業について (東北発電工業株式会社 高橋史典氏)
- ② 給排水処理設備一括業務受託の実施について (北海道パワーエッジコンサルティング株式会社 大坂拓未氏)
- ③ プラント稼働中におけるプロセス監視装置の更新と運転機能維持 (株式会社ジェイテック 古積弘行氏)
- ④ 六ヶ所再処理工場における保守管理改善の取り組み (日本原燃株式会社 服部功三氏)
- ⑤ 女川原子力発電所2号機地下軽油タンク設置工事の概要について (東北電力株式会社 粟津駿介氏)
- ⑥ 洗濯廃液系配管からの洗濯廃液滴下について (東北電力株式会社 木村康宏氏)
- ⑦ 新規制基準の適合するための現場識別管理について (北海道電力株式会社 吉井秀典氏)



日本保全学会

東北・北海道支部

ニューズレター NO.15

2019.4

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jism.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内

URL :

www.jism.or.jp/branch/index.html



発表の様子（第1部）



発表の様子（第2部）



質疑・意見交換の様子



講評の様子（左:杉山氏 右:青木氏）

技術交流会を締めくくるにあたり、高木会長から全体を通しての講評をいただき、橋爪支部長が閉会の挨拶をいたしました。今回の発表には、すでに実機適用段階の技術、実機適用に向けて取り組み中の技術、保全実務の良好事例など、現場の課題解決のために有用な情報が多々あり、今後とも本技術交流会を継続し、各社の知見を共有しお互いに高めあうことの意義を参加者全員が認識できた会合でした。



全体講評（高木会長）



閉会挨拶（橋爪支部長）



参加者 記念写真

2019.4

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jsm.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉

6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科

量子エネルギー工学専攻内

URL :

www.jsm.or.jp/branch/index.html

技術交流会終了後、会場を移して情報交換会が開催されました。開催にあたり、開会の挨拶と乾杯の音頭を榎氏（北海道電力株式会社）からいただきました。会場各所で技術交流会の場では確認できなかった事項などの情報交換が行われ、技術交流会発表者から感想や抱負を述べる時間もあり、参加者同士の親睦をさらに深めることができました。最後に石川氏（日鋼検査サービス株式会社）から閉会の挨拶をいただき、参加者全員の一本締めで情報交換会を終了しました。



情報交換会の様子



閉会挨拶（石川氏）

保全技術交流会の翌日1月29日（火）には、ニッカウイスキー余市蒸留所の見学会が行われました。

余市蒸留所は1936年のウキスキー製造開始から、石炭直火炊きポットスチルによる蒸留方式の伝統を守っている蒸留所です。熟練の職人の技が必要になるため、現在では世界でも希少な蒸留法になったとのこと。今回はポットスチルが稼働している様子や土間作りの貯蔵庫で保管された熟成樽等を見学しました。



ポットスチル稼働



土間作りの貯蔵庫



余市蒸留所内の風景



併設の博物館



併設の試飲コーナー



小樽で昼食

今回の保全技術交流会は、北海道胆振東部地震の影響により、一時開催が危ぶまれましたが、日を改めて計画したところ、多くの発表があり、参加者の皆様による活発な意見交換が行われ、盛会のうちに終了することができました。諸準備に協力いただいた関係者の皆様、発表および参加された皆様により感謝申し上げます。

（平成31年4月4日）